

小学校1・2年生～

2020年9月 no.75

よんでネット*

2020

秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「どんぐりむし」

しゃしん
ぶん

ふじまる あっお
藤丸 篤夫
ありさわ しげお
有沢 重雄



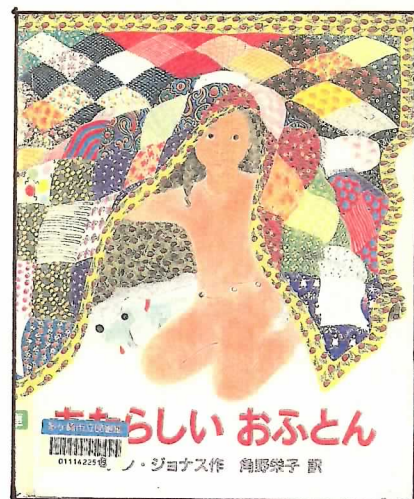
そうえん社〔48フ〕

どんぐりを ひろって はこに いれて
おいたら、むしが でてきて ビックリ！
どんぐりから でてきた むしだから
「どんぐりむし」だ。むしのおかあさんは
どんぐりの かたいからに あなを あけて、
たまごを うむ。こうえんで、ちいさな
あなが あいた どんぐりを さがしてごらん。
きっと きみも どんぐりむしに あえるよ。

「あたらしい おふとん」

アン・ジョナス 作
がの 栄子 訳

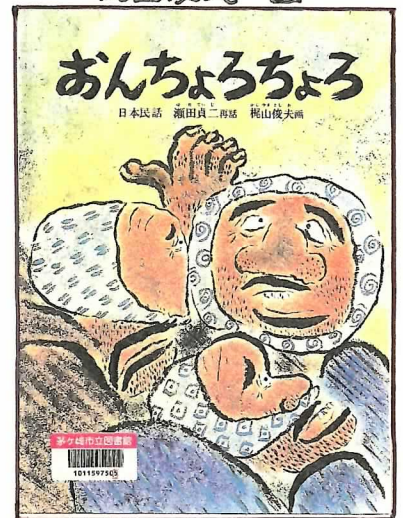
みて！あたしの あたらしい おふとん！パパと
ママが あたしが 小さいころに きてたふくを 使って
きれいな パッチワークの おふとんに してくれた。
じっと見てると…あら、ここ、おうちの かたち
してる。あれあれ…この おふとん、ちっちゃな
まちみたい。あ…サーカス！ここは…もりだ。



あかね書房〔E・絵本のコーナー〕

「おんちよろちよろ」 日本民話

むかし、お寺のこぞうさんと まちがえられた
男の子が、じいさんと ばあさんにおきょうをあげて
ほしいと たのまれました。こまった 男の子は かべ
から でてきた ねずみをみて「おんちよろちよろ
でてこれそろ…」ととなえました。じいさんたちは
ありがたがって 毎日「おんちよろちよろ…」と
となえました。ところが あるばん…。

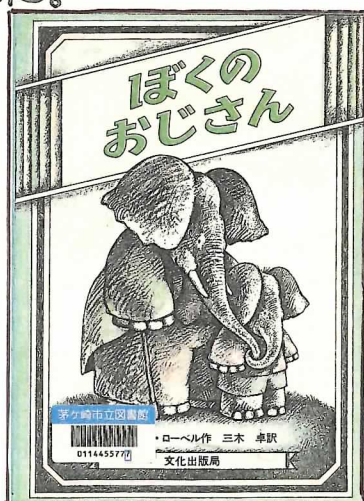


福音館書店 [E・絵本のコーナー]

「ぼくのおじさん」

アーノルド・ローベル 作
三木 卓 訳

ぼくは ぞうの こども、まだちい
さい。ある日、かあさんと とうさんは
ふねでたびへ。そしたら あらしに
なって、ふねは かえってこない。
ひとりぼっちの ぼくに、おじさんは
おはなしも してくれた。ぼくのうたも
つくってくれた。かあさんと とうさんが
帰ってくるまで、ずっと ぼくの そばに
いてくれた。



文化出版局 [E・絵本のコーナー]

「ちびねこ チョビ」

角野 栄子 作
垂石 真子 絵

くろねこのメメのこどもは、サビと
トビと おんなのこのチョビです。
チョビはいたずらが大きすぎ。かいぬ
しのおくさんの 香水びんをわって
こうすいのおいだらけになったり、
あめの日、どろあしで おくさんの
ようふくをよごして おこられても
いたずらを やめません。
でもそのチョビが一年たつと…。



あかね書房 [913カ]